

## 『教育サプリア講演会』 木村素也先生講演会の報告

①目的 木村先生の豊富な子ども支援の経験と知識、あたたかい視点や考え方を、今の教育現場で試行錯誤している先生方、支援に関わる人たちに伝えて役立ててもらおう。オンラインで発信する。

②対象 ・月イチ開催の「発達凸凹な子ども達への言葉かけ勉強会」参加者 ・チケット販売サービス peatix 経由の方（発達の凸凹のある子達を支援している方。先生、保護者、支援員、児童館や習い事、特別支援、発達支援事業所の職員さんなど）

③日程&テーマ

・9月28日（土）20:30～不登校 『登校に悩む子ども達の理解と支援について』

・10月19日（土）20:30～発達支援 『発達障がいの理解と本人に寄り添った進路指導について』

④参加費 3,000円（peatix 経由で決済）

⑤当日スケジュール

20:00 チェックイン      20:15 ルームオープン      20:30 主催者挨拶      20:32 講演会（約40分）  
21:15 ブレイクアウトルーム（15分）      21:30 質疑応答（30分）      22:00 終了

【教育サプリア講演会とは…】 教育に関わる優れた見識をもった方を講師に招き、子ども達の教育現場の先生・支援に関わる方々への、栄養補給（サプリア）になる不定期講演会。第一回、第二回は木村素也先生にお願いします

教育サプリア講演会 第1回

登校に悩む子どもたちの理解と支援について

2024  
**9.28** (土) 20:30～22:00  
オンライン開催

ぼちぼちの会会長  
木村素也

教育・支援者へ気づきの輪

教育サプリア講演会 第2回

発達障がいの理解と本人に寄り添った進路指導について

2024  
**10.19** (土) 20:30～22:00  
オンライン開催・3,000円(税込) ※アーカイブあり

ぼちぼちの会会長  
木村素也

教育・支援者へ気づきの輪

木村素也（きむらもとや） 福岡市在住。不登校生の保護者会「ぼちぼちの会」会長。38年間、福岡市立中学校の教員として勤務。平成13年度以降は福岡市立中学校の管理職（教頭、校長）として学校運営に関わる。平成26年3月に退職。退職後福岡市子ども総合相談センター囁託相談員、大宰府市就学支援員会副委員長などを経て、現在も教育相談や不登校生の支援活動を続ける。圧倒的な子どもと親の支援の経験と知識、また、たくさんの心を支えたあたたかい視点と考え方を、講演でも多くの現場支援の方に伝えている。著書『不登校支援の輪をつなげよう』。主催者（風岡）の中学校の恩師でもある。



# 人をやる気にさせる「ペップトーク」

ペップトークは、もともとアメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチです。

ペップは英語で、元気・活気・活力という意味があり、シンプルでポジティブな言葉を使って、相手を勇気づけ、背中を押してあげるのが「ペップトーク」です。



講師：風岡奈穂子

どりーむさぼーと研究所 所長  
日本ペップトーク普及協会認定

講演スピーカー・セミナーファシリテーター



## ● 保護司の皆様へ

保護司の皆さんは、対象者の方々に対して言葉を伝えることの難しさを感じたことはありませんか？人と人との出会いの初めの一步と私は感じています。

対象者の方々が自分の言葉を手に入れ、自分の意思や考え方を手に入れた時、彼らの明るい未来が見えて来てくるのではないかと。そんな思いからこの講習会を企画してみました。

## ● ペップトークって、どんなもの？

2023年に行われたWBCで、決勝戦直前に大谷選手が円陣組んで話した言葉が、かなり話題になりました。実は、これが見事なペップトークなのだそうです。

僕から一個だけ。憧れるのをやめましょう。

ファーストにゴールドシュミットがいたり、センターを見ればマイク・トラウトがいるし、外野にムーキー・ベッツがいたり、野球をやっていたら誰も聞いたことがあるような選手たちがいると思う。憧れてしまっただけでは超えられないので、僕らは今日超えるために、トップになるために来たので。今日一日だけは彼らへの憧れを捨てて、勝つことだけ考えていきましょう！

さあ行こう！

みなさんも「ペップトーク」に触れて、家庭や職場で実践してみませんか？

◎ 募集人数 15人（先着順とさせていただきます。）

● 日 時 令和6年12月3日（水）午前14時30分から午後16時30分まで

● 場 所 更生保護法人 自愛会 八王子市子安町二丁目1番地18号

● 電 話 042-642-4941 担当 植田

● ご 注 意 駐車場に限りがある為、公共交通機関のご利用をお願いします。

● 発達障害(ADHD)を持ち、幼少期からみんなができることをできず自身の凸凹に苦しむ。前向きな言葉がけ「ペップトーク」が発達障害の子の成長に最適で、学校現場支援と講演をしている。